

令和5年度事業報告書

| | |
|----------------|--|
| 公の施設名称 | 岡崎げんき館 |
| 施設の設置目的、 役割 | 健康増進施設 |
| 施設の所在地 | 岡崎市若宮町2丁目1番地1 |
| 施設規模 | 敷地面積：13,263.56㎡ 建物面積：7,563.25㎡ |
| 指定管理者 | 名 称：岡崎げんき館マネジメント株式会社 所在地：岡崎市若宮町二丁目1番地1 代表者：鈴木 隆博 |
| 指定期間 | 平成20年3月1日～令和15年3月31日 |

1 事業の実施状況

(1) 実施状況

<イベント>

| 項目 | 実施日 (予定 日) | 人数 (人) | 内容 |
|--------------------|------------------|-----------|----------------------|
| 四季イベント 夏のげんきまつり | 7/29 | 2,500 | ふれあい夏まつり(盆踊り等) |
| 小計 | | 2,500 | |
| 四季イベント 秋のげんきまつり | 10/15 | 560 | スタンプラリー |
| | | 135 | アクアチューブ体験 |
| | | 43 | 名古屋グランパス幼児サッカー体験(年中) |
| | | 47 | 名古屋グランパス幼児サッカー体験(年長) |
| 小計 | | 785 | |
| 四季イベント 冬のげんきまつり | 1/7 | 12 | すこやかキッズ体操 体験会 |
| | | 23 | 子ども体力測定 わんぱく度チェック |
| | 1/8 | 51 | 名古屋グランパス幼児サッカー体験(年少) |
| | | 70 | 名古屋グランパス幼児サッカー体験(年中) |
| 小計 | | 156 | |
| 四季イベント 春のげんきまつり | 3/10 | 48 | 愛知学泉大学ちっちゃなコンサート |
| | | 15 | キッズダンス体験会(初級) |
| | | 9 | 産後ママ シェイプアップ |
| | | 23 | かんたんエアロ+ストレッチポール |

| | | | |
|-------|-----|-------|------------|
| 小計 | | 95 | |
| 読み聞かせ | 12回 | 255 | おはなし・あっぷっぷ |
| 小計 | | 255 | |
| 合計 | | 3,791 | |

<インフォメーション ウォール>

| 項目 | 展示期間 | 展示数 | 内容 |
|-------------------|-------|-----|----------------|
| インフォメーション ウォール | 6/10～ | 5 | 第19回「岡崎の四季」写真展 |
| | 10/8～ | 5 | 第20回「岡崎の四季」写真展 |
| | 2/9～ | 5 | 第21回「岡崎の四季」写真展 |
| 合計 | | 15 | |

<職業体験>

| 実施日 | 学校名 | 学年 | 人数 |
|-------------|-----------|----|----|
| 8/2～8/3 | 岡崎市立河合中学校 | 2年 | 1 |
| 10/19～10/20 | 岡崎市立岩津中学校 | 2年 | 4 |
| 合計 | | | 5 |

(2) 事業実施に対する自己評価

新型コロナウイルスの感染対策や利用制限を緩和して、元来の運営体制に戻ることが課題とされた一年でした。マスクの着用や手指消毒を任意としたことをはじめ、入場規制していたエリアの開放や教室定員の変更など、新型コロナウイルスの5類移行に伴い順次対応しました。『これまでと違うかたちで』『できることから少しずつ』という考えのもとで様式を変えて開催していたイベントについても、以前の規模で実施することを目標に計画しました。

四季イベントとして夏・秋・冬・春4回の『げんきまつり』を開催しました。根石学区によるふれあい夏まつりは平成29年の実施以降、雨天中止やコロナ禍の中止を経て6年ぶりの開催となりました。学区の社会教育委員会や子ども会の方々と共に、以前を思い出しながら会場設営を行い、当日は盆踊りや子どもゲームコーナーに大変多くの来場があって賑わいを取り戻した印象でした。

秋のげんきまつりについては、岡崎市様・岡崎げんき館市民会議様・SPCの三者共同による開催となりました。健康をテーマとしてつくられた各ブースには来場者が行列を成し、様々な体験と学びの機会となりました。スタンプラリー全体の参加人数は2019年度と概ね同様までに回復しました。

冬のげんきまつりでは、子ども体力測定や名古屋グランパス幼児サッカー体験等、子ども向けのイベントを中心に行いました。利用後のアンケートでも好評をいただいております。こうした当日参加型の体験プログラムに対する市民の関心の高さを改めて知る機会となりました。

春のげんきまつりでは、愛知学泉大学によるコンサートイベントに多くの親子が参加して楽しみました。また、産後の女性を対象とした教室やエアロビクス教室などを開催して、岡崎げんき館の定期教室の体験機会を提供しました。体験型の教室をきっかけとして類似

する定期教室への申込もあり、市民の運動の定着に寄与することができました。

令和3年度に開始した親睦テニス大会に関しては今や恒例行事となりつつあります。新型コロナウイルスの影響により屋外で安全にできるイベントを検討していく中で生まれた本大会が、現在では市民の交流の場となって賑わいを創出しています。

市内の中学生を対象とした職場体験学習についても広く受け入れました。スポーツや保育に関わる仕事に関心を持つ生徒が多く、健康づくりゾーンのトレーニングジムやプール、子ども育成ゾーンの業務に触れる機会を提供できました。

2 施設の利用状況

(1) 利用状況

| | |
|-------|---------|
| 新規登録数 | 4,826 人 |
|-------|---------|

| 施設 | | 人数(人) | |
|--------------|----------------|-------------------|-------|
| 健康づくり ゾーン | 自由利用 | 125,882 | |
| | 教室利用者 | 84,184 | |
| | 見学者 | 321 | |
| | 健康広場(フットサル) | 2,676 | |
| | 健康広場(テニス・サッカー) | 11,896 | |
| | 小計 | 224,959 | |
| 子ども育成 ゾーン | プレイルーム | 3,823 | |
| | 子育て相談 | 160 | |
| | プレイホール | 15,961 | |
| | 利用者向け託児 | 1,391 | |
| | 病後期一時託児 | 51 | |
| | 小計 | 21,386 | |
| 市民交流 ゾーン | 和室 | 6,102 | |
| | 市民活動室 | 11,035 | |
| | 多目的室 | 17,730 | |
| | 調理実習室 | 2,818 | |
| | 市民ギャラリー | 6,085 | |
| | 講堂 | 0 | |
| | 情報ライブラリー | 32,038 | |
| | 小計 | 75,808 | |
| 保健衛生 ゾーン | 保健政策課 | 総務係(窓口受付・取次件数) | 268 |
| | | 保健政策係(窓口受付・取次件数) | 425 |
| | | 医務指導係(窓口受付・取次件数) | 1,494 |
| | | 施設整備係(窓口受付・取次件数) | 522 |
| | 保健衛生課 | 環境衛生係(窓口受付・取次件数) | 1,859 |
| | | 食品衛生係(窓口受付・取次件数) | 2,983 |
| | 保健予防課 | 感染症対策係(窓口受付・取次件数) | 1,014 |

| | | | |
|----|-----------|----------------------|--------|
| | ワクチン接種推進室 | 予防接種1係（窓口受付・取次件数） | 4,357 |
| | | 予防接種2係（窓口受付・取次件数） | 1,897 |
| | 健康増進課 | 成人保健係（窓口受付・取次件数） | 2,091 |
| | | 母子1係（窓口受付・取次件数） | 240 |
| | | 母子2係（窓口受付・取次件数） | 602 |
| | | 母子3係（窓口受付・取次件数） | 389 |
| | | こころの健康推進係（窓口受付・取次件数） | 500 |
| | | 市役所（窓口受付・取次件数） | 311 |
| | | 動物総合センター（窓口受付・取次件数） | 314 |
| | | 食品衛生協会（窓口受付・取次件数） | 668 |
| | | その他（窓口受付・取次件数） | 83 |
| | | 小計 | 20,017 |
| 合計 | | 342,170 | |

（２）利用状況に対する自己評価

健康づくり支援事業では、今年度の自由利用者・教室利用者・フットサル利用者・テニス・サッカー利用者を含めた総利用者数が224,959人となり、昨年度（124,490人）と比較して100,469人の増加となりました。

昨年度は天井改修工事により10月から3月までプールエリアが休業となっていたため同条件での比較とはなりません。新型コロナウイルスの5類移行に伴って利用人数が大きく回復したことは言うまでもありません。事業開始当初の計画で想定した15万人/年を上回る利用者数となり、事故防止等の観点からは一層気を引き締めて管理する必要性を感じ得ます。

子ども育成支援事業では、新型コロナウイルスの5類移行後も遊具の消毒などの感染対策の一部を継続して運営しました。丁寧な消毒作業に安心を覚えるといったご意見をいただいております。決してなくなった訳ではない感染症に対してでき得る対策をしております。

カリキュラムについては終日実施して親子で楽しめるようにスタッフ一同で企画考案に努めてまいりました。

子ども育成ゾーンの総利用者数は21,386人（昨年度18,589人）と回復傾向にあります。次年度も必要な消毒・清掃にかかる時間を確保した上で、安全安心してご利用いただける環境づくりやイベント企画を検討してまいります。

市民交流ゾーン総合受付では、利用者カード発行と施設の利用方法の説明、貸室の予約と貸出、施設の案内、各種お問い合わせ対応等の業務を行いました。施設の顔として明るく親切丁寧なご案内を心がけました。

新規の利用者カードの発行数は4,826枚（前年度3,322枚）となりました。

貸室については今年度も引き続き講堂に保健予防課、子ども健診コーナーに新型コロナワクチン接種推進室がそれぞれ設置されており、幼児健診事業が多目的室で実施されました。したがって貸室における一般の利用者数が従来と比較して減少していることはやむを得ない事態と捉えます。

情報ライブラリーでは本の貸出、返却、予約、物流、新規登録、レファレンス、AVブースの貸出業務を行いました。

今年度は昨年度と比較して貸出人数・貸出冊数・返却冊数が約6.1%増加しました。昨年度は天井改修工事に伴うプール休業による影響があったため直接的な比較はできませんが、概ね工事前と同じ水準に戻っています。

また毎月の特集コーナーによる本の紹介をも継続して実施しました。一般的に関心が高まるテーマに合わせて、利用者が通る出入口付近に特集コーナーを設けています。多くのかたに興味を持っていただくとともに、その分野の本を一か所にまとめることで検索時間を短縮することにもつながっています。

保健衛生ゾーンでは、各種申請の受付業務、目的に対する案内・説明、電話対応・取次ぎ、健診の受付、予防接種の接種券受付、各種申請入力業務、発送業務、カルテ・受診票のチェック等の業務を行いました。

保健衛生事業では、令和5年度からの業務として带状疱疹予防接種の一部助成の業務が加わりましたが、窓口スタッフが申請業務の内容を十分に理解して対応することができました。各申請にはそれぞれ提出期限があることから、年間を通して来所者数に波があります。日によっては窓口が混み合う場合もありましたが、大きな苦情等なく対応する事ができました。

3 収支状況

(1) 収支状況

| | 項目 | 内 訳 | 決算額 (円) |
|--------|---------|----------------------------------|--------------|
| 収 入 | 指定管理料収入 | | 379,146,252 |
| | 利用料金収入 | (市の歳入となる) | 37,385,060 |
| | 事業収入 | (独立採算事業のみ実施) | 0 |
| | その他収入 | (独立採算事業のみ実施) | 0 |
| 収入 計 | | | 416,531,312 |
| 支 出 | 直接管理運営費 | 直接人件費、光熱水費、消耗印刷費、修繕費、清掃等委託料、保険料等 | 315,464,030 |
| | (うち修繕費) | | (27,701,601) |
| | 事業費 | 事業に係る経費 | 23,949,829 |
| | その他 | 本部経費、租税公課、当期剰余金等 | 16,246,427 |
| 支出 計 | | | 355,660,286 |
| 差 引 | | | 60,871,026 |

(2) 収支状況に対する自己評価

昨年度はプール天井改修工事による休業があったために直接の比較はできませんが、新型コロナウイルスの5類移行に伴う様々な制限緩和により利用料金収入及び事業収入は大きく改善しました。利用者アンケートをもとにニーズに寄り添った教室プログラムの変更

を行い、売店で取り扱う商品の見直しなどを含め多くの工夫ができました。

支出面では人件費の増加や光熱水費の高騰などの影響を受けます。また、開館から16年を経過し、施設及び設備の修繕に関する費用が大きくなるようになってきています。必要な安全措置を十分に検討して実施してまいります。

4 利用者アンケート結果

(1) 実施概要

| 実施期間 | 回答者数 | アンケート実施方法 |
|------------------|------|------------------------------|
| 令和5年11月1日～11月14日 | 268人 | 各ゾーンにてアンケート用紙を配布。総合受付にて一括回収。 |

(2) アンケート結果概要

令和5年度は11月1日～11月14日に利用者アンケートを実施しました。

市内利用者が91.4%を占める結果となりました。回答者の年代は60代が最も多くありました。

交通手段は8割近くが自家用車であり、公共交通機関を利用しての来館はごくわずかとなります。

利用頻度については週に1回以上の利用者が6割以上を占める結果となりました。

スタッフの接客や対応については79.5%の回答者が「非常によい」・「よい」と回答しており、施設の清潔さについて「非常によい」・「よい」という回答が79.4%、同様に施設の雰囲気については74.6%という回答でした。

今後の利用について「また利用したい」は84.3%を占めました。

自由記入欄にはコロナ禍に実施できなかったイベントやおまつりの再開について喜ばれる声も聞こえました。従来の活気を取り戻すことについて、利用される皆様からの期待の大きさを実感されます。もとに戻すことに加えて、さらに充実したイベントを企画できるように検討してまいります。

また施設設備について充実しているとの回答を7割近くいただく一方で、老朽化を指摘される声も聞かれました。開業から16年を経過しており、施設設備の維持管理や更新に関する課題も見受けられます。安全を第一に考え、必要性に応じて対処してまいります。

(3) アンケート結果に対する自己評価

「スタッフの接客や対応」「清潔さ」について8割近くの皆様に「非常によい・よい」との回答をいただき、大変多くのかたにご満足いただいていると捉えております。

特に今回は情報ライブラリーのスタッフに対して、親切・元気がもらえるといったご意見をいただき、運営事業者として大変な励みとなります。皆様のご期待に添えるように常に明るく優しい対応を心がけ、安全安心な施設環境を提供してまいります。

5 その他自己評価

(1) 利用者へのサービスに対する自己評価

健康づくり支援事業では、様々に実施していた新型コロナウイルス感染症対策を任意に置き換え、概ね従来の体制に戻して運営しました。しかしながら、決して感染症がなくなった訳ではなく、当然にして引き続き心配される声もあり、5類移行直後は緩和のバランスに苦慮する場面もありました。それでも利用者の皆様のご意見に耳を傾けることを第一として、また従事者の声を大事にして安全な運営を心がけました。

岡崎げんき館で初めてとなった昨年度の天井改修工事によるプールエリアの長期休業を経て、戻って来られたご利用の皆様からは再開を待ち望んだといった声を多く承り、当施設の必要性や期待感について改めて実感しました。今後も市民の皆様によりよいサービスを提供できるように努めてまいります。

子ども育成支援事業では、来館者向けカリキュラムを終日実施して、親子で楽しめるように内容を工夫しました。季節に応じた制作カリキュラムを考え、来館される毎日が親子にとって特別な日となるように心がけてお迎えをしました。

看護師・子育てアドバイザー・保育士による相談は、ご利用の皆様安心して且つ気軽に相談事をお申し付けいただける雰囲気づくりに努めました。

次年度においても来館者にわかりやすい利用案内を行い、イベント・カリキュラムの告知を実施して多くのかたにご利用いただけるように努めてまいります。

市民交流ゾーン総合受付では、利用者カードの発行や、各ゾーンの案内・説明、電話対応、貸室の予約・貸出といった業務を滞りなく行うことができました。

貸室業務においては保健所・SPCの事業や各ゾーン間の利用調整に努めました。一般利用の皆様をお願いしていた新型コロナウイルス感染対策のお願いは任意としながらも、5類移行しばらくの間は消毒等の清掃備品を貸出できる体制を整えて運営しました。

また、保健所とSPCの間で毎月の事業予定の確認と修正を綿密に行い、ご利用の皆様に対してより詳細かつ丁寧な案内に努めることができました。

市民交流ゾーン情報ライブラリーでは、書籍等の貸出、返却、予約、物流などの図書館業務を滞りなく行ないました。

物流で取り寄せた予約資料について、今年度は27,069冊の貸出があり、前年度24,862冊と比較して8.9%増の利用がありました。引き続き利用者の皆様のご要望に応えるため、円滑な受付業務と正確なご案内に努めてまいります。

毎月の特集本や新着図書コーナー等、現在図書室に並んでいる資料も盛んに利用されていますが、内容が古く利用の少ないもの等は利用者への譲渡を視野に入れて、所蔵資料を更新していく作業を推進してまいります。

中学生以上を対象とした文学作品や、歴史・社会の図書など、所蔵のない分野の資料をお求めになるかたには予約取寄せサービスを紹介しながら、引き続き魅力ある資料の購入に努めていきます。

保健衛生ゾーン保健所受付では、来所者の待ち時間を少しでも短縮できるよう以下の内容を実施しております。

受付窓口にて来所の目的やご要件をお伺いし、SPCで対応する内容については番号札をお渡しして順番にお待ちいただきます。保健所職員が直接対応する内容につきましては、所定の窓口へご案内して担当係の職員にてご対応いただきます。いずれの受付業務についてもでき得る限り来所者の待ち時間を短縮できるよう、窓口での来所者へのお声かけを積極的に実施して混雑緩和を心掛けて実施することができました。

(2) 利用者のニーズ把握に対する自己評価

健康づくり支援事業では、各期の教室の最終回に受講者アンケートを実施してニーズの掘り起こしを行っています。アンケート結果をもとに教室のバリエーションやコマ数、実施時間帯など、多くの顧客ニーズに可能な限り応えてまいりました。

提案教室では大人向けのダンス教室として K-POP ダンス、高齢者でも気軽に楽しめるカーディオ教室としてズンバゴールドの新設をしました。プール教室においても練習する泳法を教室ごとに区別するなどして、利用者の目的に合わせて教室を選択できるようにプログラムを再編成しました。これらは昨年度の受講者アンケートや施設アンケートをもとに新しく取り入れた教室であり、ニーズを分析して応えられた結果となります。

自由利用について今年度は 125,882 人（昨年度 50,792 人）の利用がありました。先述のとおり、昨年度は半年間のプール休業があったため直接的な比較はできませんが、それでも利用者数は大幅に回復傾向にあると判断できます。利用者数の増加と共に、利用における要望も増えると推測されます。スタッフへの研修を適宜行い、サービスの質を低下させないように努めます。

今年度の新規登録者数は 4,826 人でした。岡崎げんき館のコンセプトである「運動習慣の無い方へのきっかけとなる運動施設」の役割を全うし、多くのかたにご利用いただけたことを喜ばしく思います。

子ども育成支援事業では、感染防止のためにおもちゃ等の消毒作業を継続して行い、ご来館の皆様が安心安全に楽しく遊べるように努めました。また施設内を目で見て楽しめるように、季節に合わせた壁面の飾りつけを工夫して作成しました。

危険箇所の点検についても毎日行い、来館者にも注意喚起の声掛けを徹底しました。

今後もお来館の皆様に対してより一層の心配りを行い、施設を楽しみ気軽に相談できる環境づくりを目指してまいります。

市民交流ゾーン総合受付には、市の公共施設という場所柄から多種多様な問い合わせが入ります。イベント・健診・講座などの情報を収集し、お問い合わせへの丁寧且つ速やかな対応に努めています。

また、新型コロナウイルスの5類移行に感染対策が緩和された際には各ゾーンにおいて利用ルールを変更して運営していますが、ルール更新の度にスタッフ間の周知を徹底して市民への正確なご案内に努めました。

市民交流ゾーン情報ライブラリーでは、他館からの図書館資料を取り寄せる予約サービスを活用する利用者が定着しており、物流の利用が盛んになっています。岡崎げんき館のホームページ上に中央図書館作成の新刊紹介や新着資料への Web リンクを掲載し、予約する際の参考情報の提供に努めています。

プールやサッカー教室に通うお子様を連れたかたの利用も多く、絵本だけでなく小学生向けの読み物や知識の本に対するニーズの高さがうかがわれます。今後も、絵本・読み物・知識の本、子ども向けの CD・DVD の購入を継続し、「本に親しむ機会を作りたい」「運動能力や情操面での成長を促したい」「しつけや家事遂行能力といった自立性を高めたい」という保護者のニーズにも応えてまいります。

大人向けの一般書では、食事や運動・スポーツを通じた健康づくりをテーマとするものや、育児、趣味・手芸や暮らしに関するもの等の中から、より快適で充実した生活の実現に向けて参考となるよう、新しく魅力的な一般書の選書を続け、大人のかたも継続的に利用していただけるよう注力してまいります。

保健衛生事業では、様々なかたが来所されます。

各種予防接種に関する申請や免許等の申請あるいは交付に加え、疾病に関する相談やそ

の疾病に対する申請など、幅広い年齢から複雑な内容までの対応が求められます。

窓口では来所者の立場に立ち、分かりやすく丁寧な説明を行うよう心がけました。

また、初めての来所者に分かりやすいような案内掲示を作成して誘導を行うとともに、お困りのかたや迷われていらっしゃるかたには積極的にお声掛けをして対応しました。

(3) 苦情対応等に対する自己評価

意見箱でいただいた意見などに対しては、各担当者と協議の上で回答を掲示板に貼り出しています。

ホームページからEメールでいただいたご意見などに対しては、各担当者と協議の上で回答を作成し、Eメールにて返信しています。

今年度もさまざまにご意見をいただきましたが、利用者目線でいただく運営のアイデアとして大変貴重な内容もありました。すぐに対応できるものは即刻取り入れることを心がけて、市民と共により良い施設環境の構築を目指して取り組みました。